

2019年12月

お客様各位

株式会社アイビット  
代表取締役 向山敬介



## インターネットコン 2020 展示会 出展のご案内

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度当社では最新の X 線装置 FX-300tRX2 をインターネットコン 2020 展示会に出展いたします  
ぜひこの機会に当社製品をご高覧いただければ幸いに存じます。

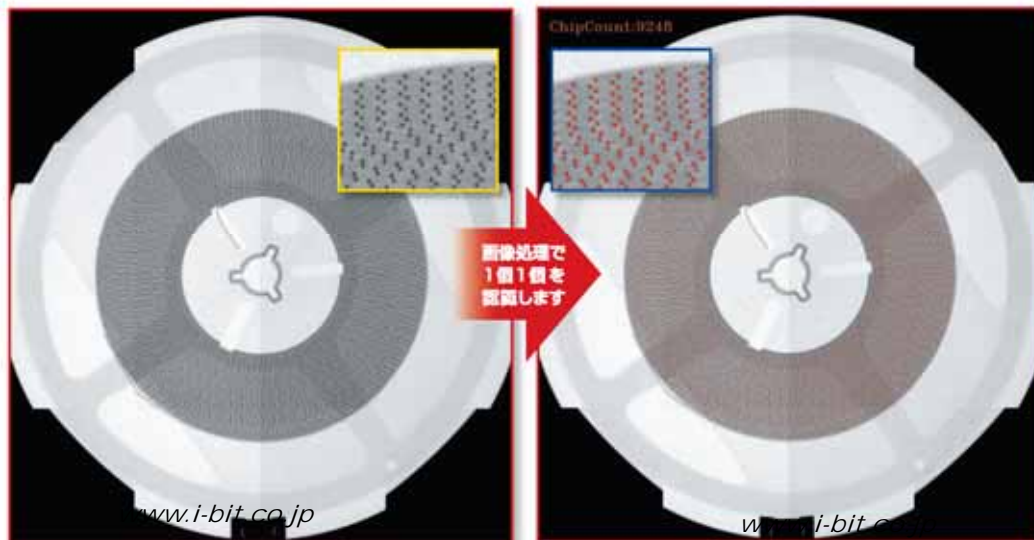
敬具

進化を続ける X 線装置

### 新機能 チップカウンター機能搭載

リールに巻かれたエンボスステップ内の電子部品「角チップ、IC、LED、その他電子部品等」の数量を、X線の透過画像によってカウントする機能です。  
テープリールのままの状態装置内にセットし、カウントボタンを押すと約30秒ほどで「リール内の部品」の数量をカウントします。  
カウントした数量は、バーコードとリンクしてCSVファイルに出力されます。

- 直径250mmのテープリールまで搭載可能
- バーコード対応、CSV出力対応(BCリーダは含まれません)
- 1リールあたり約30秒でチップカウント可能
- 0402サイズのチップカウント可能



Before

After

展示会名：インターネットコン・ジャパン 2020  
会期：2020年1月15(水)～1月17(金)  
開場：10:00～18:00 (最終日のみ 17:00 終了)  
会場：東京ビッグサイト **西1ホール: W3 60**

【出展機種】 FX-400tRX

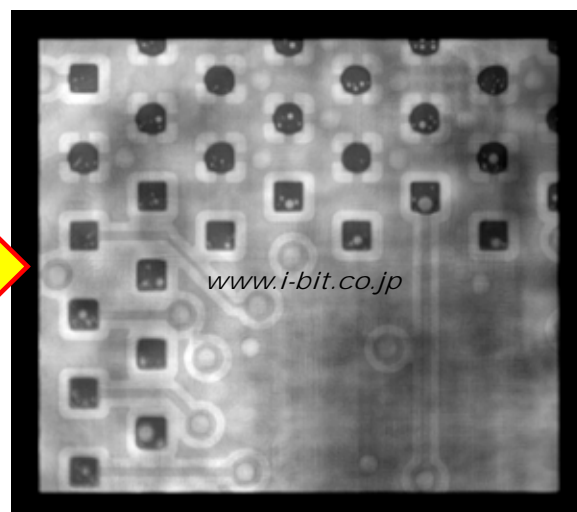
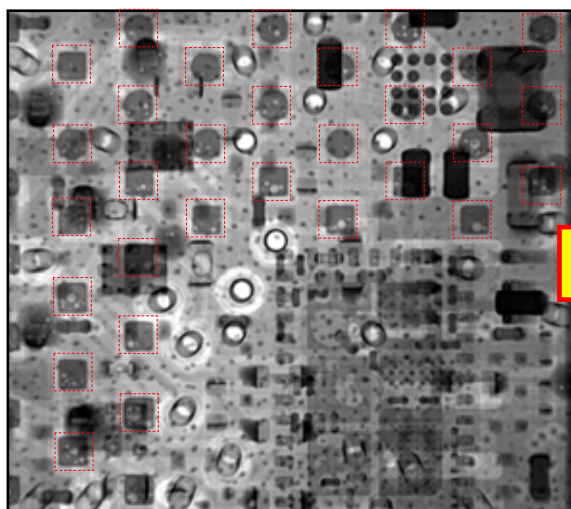


特長

- 1) X線ステレオ方式にて実装基板の裏面情報をキャンセル
- 2) さらに進化したX線ステレオCT方式では実装基板の上面から下面までを300層にスライスが可能  
縦方向の解像度が従来の100層から300層へアップしました
- 3) 幾何学倍率1000倍を達成
- 4) 3種のCT撮像に対応  
ステレオCT方式  
VCT(垂直)方式  
PCT(ななめ)方式

先進の「X線ステレオCT方式」で基板の水平断面を取得可能

複数層が重なった部分においても「先進のX線ステレオCT方式」で観察可能です



**モジュール基板のLGA部のはんだ付けの観察**

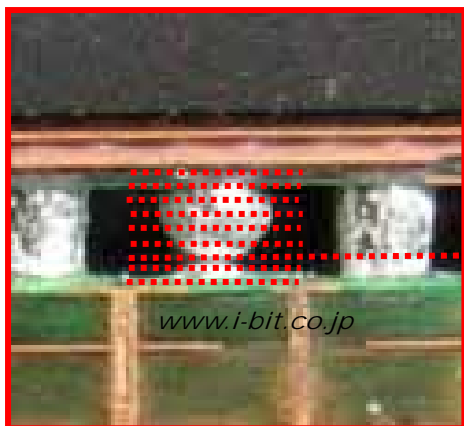
「X線ステレオ方式」は株式会社アイビットの登録商標です

「X線ステレオCT方式」は株式会社アイビットの登録商標です

【出展機種】 ILX-1100 3DX 線インライン検査装置

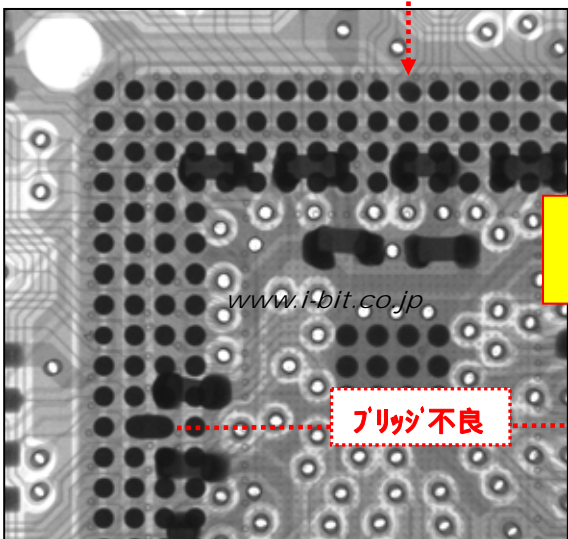


上下 100 層の断層面を取得します

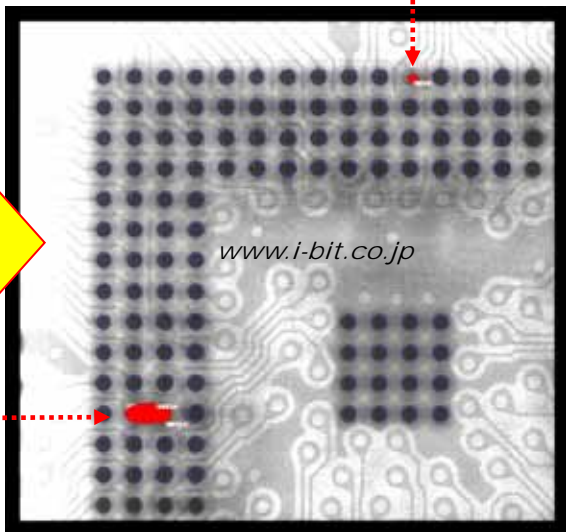
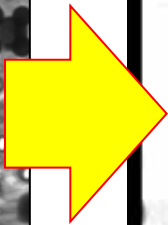


BGAの「はんだまくら = 未接続」部を基板とBGA接続界面でスライスした場合、接続面積が小さくなるため不良と判定できます

はんだまくら不良



ブリッジ不良



Before

After

【出展機種】 LFX-1000 IC ワイヤボンディング検査装置



ICワイヤーボンディングX線検査装置  
**LFX-1000R**

ICワイヤーボンディングX線検査装置 LFX-1000Rは、リール状のIC部品の内部状態をX線を用いて透視検査する装置です。テープリール内のICを巻き取りながら、1個、1個のICのワイヤーボンディングの接続状況などを自動で検査(Good/NG判定)します。

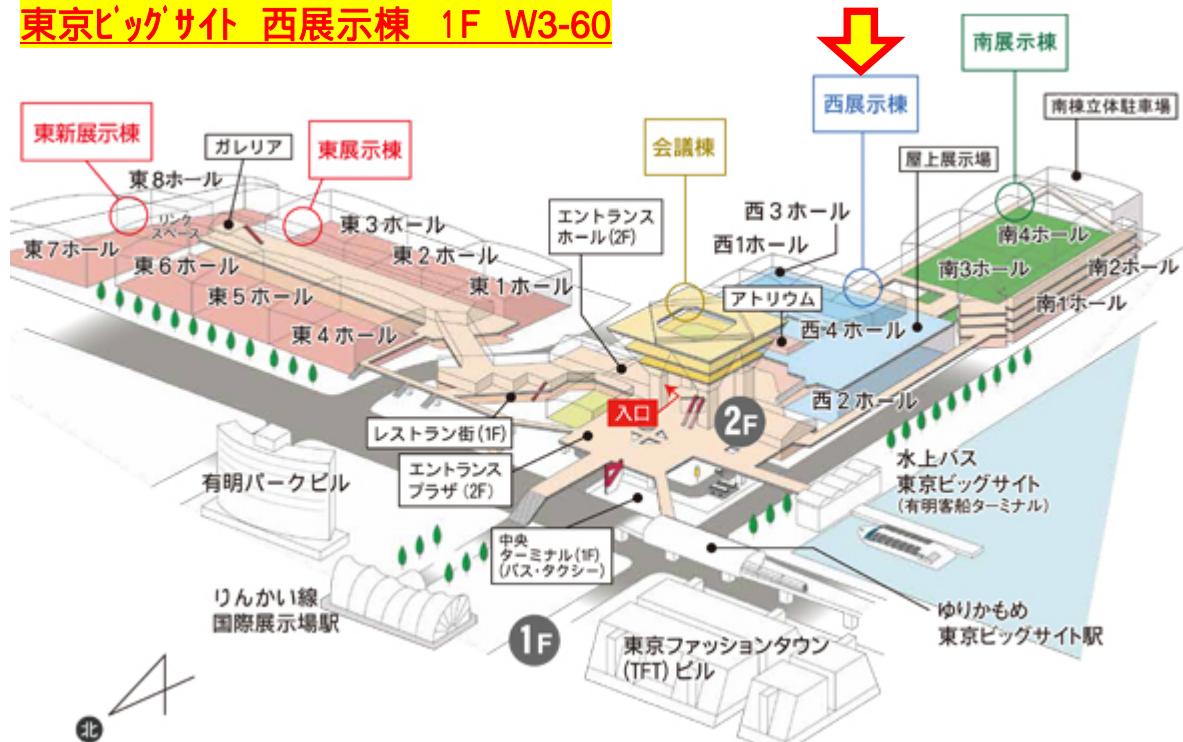
●対応可能リール寸法：180～380mm





# 出展場所について

東京ビッグサイト 西展示棟 1F W3-60



# 送付状

(株)アイビット 営業 行き

メールもしくはFAXで連絡をください

Mail: [info@i-bit.co.jp](mailto:info@i-bit.co.jp)

FAX: 044 - 829 - 1055

## X線装置 実機デモ申し込み用紙

貴社名を記入いただくか名刺を貼付けください。

お名前	_____
会社名	_____
部署	_____
電話番号	_____

### X線装置でのデモ希望 (JPCA展示会場)

第1希望      月      日      時頃

第2希望      月      日      時頃

第3希望      月      日      時頃

ご希望の時間を明記ください

希望日時が重なる場合はご希望の時間が取れないこともあります。  
その際にご容赦ください

検査対象：IC/基板/BGA/LEDなど具体的に記入してください

---

---

---

---